

五大都市体育大会 神戸市 大阪市に惜敗

準決勝で不覚

第39回五大都市体育大会サッカー競技大は7月9日と10日の両日、名古屋市で開催された。昨年の京都大会では優勝しているのに、2連覇をめざしてのぞんだが準決勝で対戦した大阪市にわずかに及ばず惜敗した。優勝できるチームであっただけに残念である。

▷第1戦（7月9日、11:30）

神戸市 4 $\begin{pmatrix} 2 & 0 \\ 2 & 2 \end{pmatrix}$ 2 横浜市

前半5分笠谷が先制して有利な展開となり20分にも山名が決めて35分を神戸のペースで進める。後半になって横浜市が積極的に攻撃をかけて来て5分に1点を返されたが、7分山名のシュートで突きはなし、30分、針尾がゴールして4対1と、とどめをさす。終了まぎわに1点をゆるしたものの完勝した。

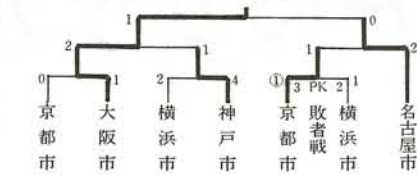
▷準決勝（7月10日、11:00）

神戸市 1 $\begin{pmatrix} 0 & 2 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$ 2 大阪市

前日の第1戦に完勝して意気あがる神戸市に前半5分、自殺点という思いがけない落とし穴が待っていた。30分にも失点して2点を追う不利な立ち場に立たされた。

後半開始から攻めまくって大阪陣をおびやかして27分、やっと西田がヘディングで決めて1点差につめよる。その後も押しているが、あせりも出て得点にむすびつかず惜敗した。

第39回 五大都市体育大会結果



出場選手

		(神戸)		(大阪)		(横浜)	
監督	細谷 一郎	堀川 万佐雄	鈴木 保				
マネージャー	松本 武	周 参	佐 修				
コ	森川 和俊						
選	福山 嘉夫	窪田 豊	鍵本 勝美				
	松岡 泰典	木村 信昭	今福 真利				
	山本 伸吾	田中 芳和	広間 義則				
	小林 匡樹	脇家 一昭	小川 綱一				
	安堂 輝	福井 誠二	西谷 冬樹				
	西田 正雄	作田 誠幸	小池 直史				
	山名 幸男	小西 政久	松橋 力蔵				
	厚田 大加志	岩松 哲也	森野 政春				
	鈴木 利章	加藤 修二	加藤 芳宏				
	酒池 俊雄	堀田 龍彦	本間 淳介				
	笠谷 忠行	上田 昭彦	宮下 真人				
	荒瀧 光彦	江本 伸浩	七條 一郎				
	小丸 一志	唐山 浩実	小川 明彦				
	針尾 伸治	蔵内 茂	田村 秀美				
	土橋 一雅	前田 衛	須藤 嘉明				
	八木 清悟	弓場 俊彦	上林 忠司				

PRIME MINISTER CUP'88

第12回総理大臣杯全日本大学サッカー・トーナメントは8月24・25・27・28日と、神戸市立中央球技場、ユニバーシアード記念競技場、神戸市立王子競技場で、関西3、関東5、東海2チームのほか、6地区代表の計16チームが参加して開催される。

神戸で行われた昨年の大会では関西代表が全て準々決勝までに姿を消し決勝は順天大と筑波大で争われたが、今年は大商大をはじめ大体大、同志社とも打倒関東に燃えているので決勝進出が期待される。

ユニバー記念競技場と中央球技場で行われるゲームのうち6試合がナイトゲームになっているので、納涼を兼ねて多数の方々が、電光に映える緑のグラウンドでの熱戦を見、足を運んでいただきたい。

昭和63年度 神戸市社会人リーグ前期成績

1部	神戸	神戸	アセ	兵庫	北	須磨	引	負	勝	点	順
A組	FCA	高専	ナル	朝	鮮	ルズ	クラブ	数	分	数	位
神戸	●	○	●	○	△	○	○	3	1	1	7
FCA	○	●	○	○	○	○	○	3	1	1	7
高専	○	○	●	○	○	○	○	3	1	1	7
ナル	○	○	○	●	○	○	○	3	1	1	7
アセ	○	○	○	○	●	○	○	3	1	1	7
兵庫	○	○	○	○	○	●	○	3	1	1	7
朝鮮	○	○	○	○	○	○	●	3	1	1	7
北	○	○	○	○	○	○	○	3	1	1	7
須磨	○	○	○	○	○	○	○	3	1	1	7
クラブ	○	○	○	○	○	○	○	3	1	1	7

1部	神戸	神戸	双和	川重	神戸	神戸	勝	引	負	勝	順
B組	市役所	同好会	運輸	輪本	FCB	本社	数	分	数	点	差
神戸市役所		○	2-0	●	4-2	4-0	3	1	1	7	1
神戸同好会	●		△	○	○	○	3	1	1	7	5
双和運輸	0-2	△		2-0	3-0	2-0					
川重本	2-2	1-1		●	1-1	5-0	1	3	1	5	3
FCB	1-0	○	○	0-2		1-2	2	1	2	5	0
神戸FCB	●	△	△	△		○	1	2	2	△	5
神戸鋼本	2-4	0-3	1-1	1-1		5-2					
神戸鋼本	○	●	○	●							
神戸鋼本	0-4	0-2	0-5	2-1	2-5		1	0	4	2	△13

神戸市 桜が丘初優勝

第28回神戸市中学総体サッカー選手権大会は7月17日から始まり21、22、23、24日と、灘中、磯上、六甲中、中央サブ、竜ヶ台、福田中、高倉中の各グラウンドで37チームが参加して行われた。

中学新人戦で優勝した高倉中。中学生選手権で優勝した桜が丘、準優勝の竜ヶ台。昨年の秋の県大会を制した歌敷山が予想通りに勝ち上って来るなかで湊川、玉津、塩屋、それに久しぶりに鷹匠が準々決勝に進出した。

しかし桜が丘、竜ヶ谷、歌敷山の技術、走力が一段と高く、桜が丘はほとんど湊川陣で戦って勝ち、竜ヶ台は大型ウイングの突破からゴール前でせり勝って鷹匠をくだし、玉津を破った塩屋、歌敷山と共にベスト4に進出した。

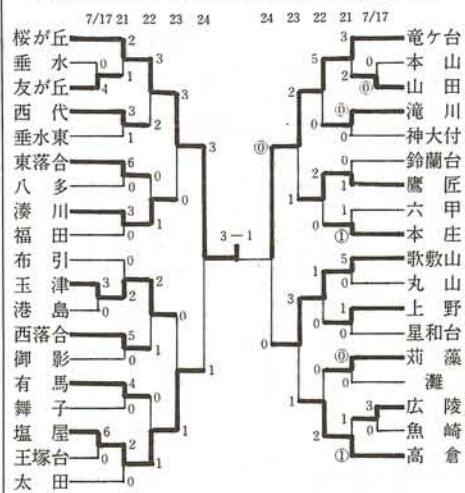
準決勝でも桜が丘は3対1と塩屋をくだしたのに対し、竜ヶ台は歌敷山と互角の激しいたたかいを強いられ、PK戦で勝って、やっと決勝に進出した。

決勝戦は準決勝のあと桜が丘には3時間、竜ヶ台にとっては1時間50分の休みを置いた15時から行われ、桜が丘が3対1で勝利をおさめ初優勝にかがやいた。

▷決勝（7月24日）

桜が丘 3 $\begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 2 & 1 \end{pmatrix}$ 1 竜ヶ台

第28回 神戸市中学総合体育大会 結果

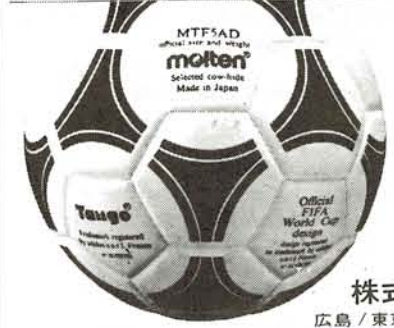


社会人運営委員会よりのお知らせ

グラウンドでの空缶、タバコの吸いがら等の持ち帰りについては毎回注意をお願いしていますが、まだ守られていません。7月10日の甲北高校グラウンドでも、ゲーム終了後に多数の吸いがらが落ちていました。

今後このようなことがあったらグラウンドの使用ができなくなりますので、チームの代表者は必ずチーム全員に徹底させてください。

充実のモルテン Tango



株式会社 モルテン

広島 / 東京 / 大阪 / 名古屋 / 福岡 / 札幌

日本サッカーにルネサンスは起こるか？(35)

枚方FC 近江 達一

金がらみはすべて不浄か？

枚方フットボールクラブがある高校チームと試合したときのことである。その先生が、「金払ってサッカーやってるやつに負けるな」と叫んだ。どういう意味なのか、いまだによくわからないのだが、察するに、「枚方は金がかかっているんだから、アマの風上にも置けぬ蔑すべき連中だ。我々は金銭と何ら関係のない清く正しく純粋にサッカーをやっている学校運動部なんだぞ」とでも言いたいのだろうか？

しかし、もしそういう意味なら、学校運動部も金銭と無関係とは言えまい。校友会が何から金を貰っているはずだし、全国大会出場ともなれば、何百万もの寄付金を集める。厳密に言えば、他人の金でスポーツをやっているわけである。

その点、我々町のクラブはどこからも一円も貰ってない。子供たちは交通費、宿泊費、すべて自腹を切っている。夏の五日間、クラブユース大会など、できるだけ安いところに泊るが、何万円も払っている。小学校、中学校、高校とずっとそうしてきた。

必要な費用は全部自分で出してサッカーをやる。このところが悪いと言うのだ。他人からとやかく言われる筋合いはない。それどころか、学業の重視度、練習量、金銭面、あらゆる点で、「正真正銘のアマチュアでござい」と胸を張るのは、学校運動部ではなくて、我々の方なのである。

学校関係者の中には、私がプロ選手育成的指導をしていると思っている方もおられるらしいが、まったくの誤解である。私がいくらサボりでも、子供たちをプロに育てるつもりなら、こんな甘ったろい育て方はしない。アマチュアとして扱っているからこそ、勉強の邪魔にならぬようにノンビリ育てている。

経験してこそわかる技術の有難さ

そうした価値観について、もともとそういう国民性なんだ、と言ってしまえばそれまでだが、明治以来、輸入、輸入で来たために今日のような土壌になってしまったとも考えられる。

何しろ技術にしても学問にしても、実にくさんのものを輸入して利用し、模倣改良し使いこなして長足の進歩を上げてきたので、自分でゼロから苦労して作り出さなくても、よそで見つけてきさえすれば用は足る。買物、借り物、ヌリ絵やプラモデル式の方が、簡便で手とり早いことを皆よく知っている。

何事でも自分である程度やってみないことには、本当のことはわからないものである。一から始めて一苦労してみると、なるほどこういうことだったのか、こんなものなのかと、難しから、喜び、悲しみ、その方の天分、

才能の必要性、貴重さなどまで、実感としてわかってくる。

そこで、初めて、他人の苦労も実力もわかり、自分の経験や能力を基準にして適切な評価ができるようになり、それに伴って感謝や尊敬の気持ちも起こってくるようになる。

ところが、日本人は生来創造性に乏しい上に、輸入がそれに拍車をかけてしまったために、既成のもの学習、改良といった努力はしたけれど、肝心の創造、つまり、無から作り出す苦労をしていない。だから、技術や創造性の重要性や有難みがもうひとつピンとこない。それらを低くしか評価できないのも無理ないことかも知れない。

サッカーの場合でも、自分で苦心惨胆して開発独創していこうとする指導者や選手は少ない。それよりも、勝利に直結するようなセオリーや作戦、短期達達法といったものを探して早く手に入れようと考えている人の方が多いが、私のように、長年、他に頼らず自分で考え工夫し苦労してきたものには、技術、創造性の重要性や有難みがとてもよくわかる。

よく、「枚方の選手は幾つかのクラブの選抜か」とか、「テストをして入れるのか」となど質問されるが、とんでもないことで、たまたま枚方辺に住んでいたというだけの子供たちで、高校生になると人数も減り1チームがやっと、グラウンドも借り物。練習は週3回、計6時間にすぎない。

だから、クラブの全国大会に出ても、いつも体格、体力、スピード、素質、当たり、気力、ほとんどすべての面で他チームに劣る。ただいつもとはいかないが、個人の技術、戦術がまさっている年があり、1984年のクラブユース全国大会では実にこのたった一つの長所がものを言って、何十回となくラフプレーで倒され、はねとばされ、猛暑にバテながらも、読売以下の強チームを何とか下して優勝した。このときほど、技術の有難さが身にしみたことはなく、技術に手を合わせて拝みたい気持ちだった。

日本チームが外国チームと対戦する場合も、これと同じことが成り立つにちがいないと私は思う。体格、体力、素質、環境、闘志、ほぼすべてで劣る日本は、当然それらの改良、強化を続けねばならないけれども、それに力を入れる以上に、個人の技術、戦術レベルをもっともっと高めるべきである。それなしには、日本代表チームが国際試合で好成績をあげることは不可能であろう。

育て方次第で日本人も巧くなれる！

わが国のサッカー選手の技術レベルが低い直接原因に育て方の拙さがある。まず筆頭にあげねばならないのは、「外人のような巧いプレーは日本人にはできない」という思いこみである。それが誤りであることは、ネルソン

この連載は、雑誌サッカー・ジャーナルに連載されている枚方FCの指導者・近江達氏の随想をサッカー・ジャーナルのご好意で連載しております。
「日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要であると、近江氏はいうが……。



日本の子供たちも外人同様巧くなれるはず。

吉村以来、来日したブラジル育ちの日本人の巧さでとくに証明済みである。

別段ブラジルでなくても、日本的なガチガチのチームプレー1点張りの命令サッカーでなく、オーバーコーチングや過干渉をやめて、選手たちそれぞれの創意工夫を許す自由度の高いサッカーの中で小さい頃から育てていきさえすれば、国内でもブラジル育ちのように十分上手になれる。以前はそういう育て方をしている指導者などいなかったけれども、今では、いろんな地方で、そうして巧い選手が育ってきている。

日本中が早くそういう育成法になるといい。そうなれば、いずれ国内でも素晴らしいゲームが見られるようになる。すでに、「こうすればいけるんだ！」という育成法がわかっているのだから、やってみようという、無理だとか、日本人向きでないとか言うのは非科学的すぎる。ぜひ試みて欲しい。

ただ、こちらの道を行ってみようと思志指導者の方々にぜひお願いしておきたいのは、御承知のように、サッカーは一人前になるのに十年以上かかるので、そうした創造性教育も、じっくり腰を据えて気長に一貫して続けて頂かないと実を結ばないということである。だが指導者には短気な人が多いので、それは相当の難事業らしい。

「あれこれ指図するとよくないと聞いたので、自由にやらせてみたけど、どんどん悪いサッカーになっていく。愚にもつかぬプレーで試合に負ける。どう仕様もない。とうとうたまりかねて、以前のように教えこんでやらせたら良くなってきたし、勝てるようになった」といった類の話をときどき耳にする。

悪いサッカーというのは、球ばなれの悪いサッカー、局地戦の連続、狭い展開・前進に手間どる、ロングパスがない、といったことであろうが、子供たちを自由にさせると、彼らの頭と体力ではどうしても自然にそうになってしまう。 つづく

モンブラン発。愛するサッカー人へ。



マーカムSFホワイト
●カラー/ブラック×ホワイト・ブルー・レッド・グレイ ●サイズ/20.0-27.0cm
標準小売価格 ¥5,000



コーチャーCTR-21
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/21.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,600



コーチャーCTR-21-PS
●カラー/ブラック×ホワイト ●サイズ/22.0-28.0cm
標準小売価格 ¥5,200

モンブラン株式会社 本社 〒653 神戸市長田区神楽町4丁目7-16 TEL(078)641-8881 東京支店 〒111 東京都台東区浅草橋3丁目10-8 TEL(03)862-5891 福岡営業所 〒816 福岡市博多区那珂1丁目11-12 TEL(092)473-8881